

三三三三番

おほきみ 命みことかしく 命 恐み あきづ島しま 大和やまとを過すぎて

おほとも 大伴の 三津みつの浜はまゆ 大舟おほぶねに ま梶かぢしじ貫ぬき

あさ 朝なぎに 水手かこの声こゑしつ 夕ゆふなぎに 梶かぢの音おとし

つつ 行きゆし君きみ いつ来きまさむと 占うら置おきて 齋いは

ひ渡わたるに 狂言たはことか 人ひとの言いひつる 我あが心こころ

つくし 筑紫やまの山の もみち葉はの 散ちり過すぎにきと 君きみが

ただかを

反はん歌か

三三三四番

たはこと 狂言ひとか 人ひとの言いひつる 玉たまの緒をの 長ながくと君きみは

言いひてしものを